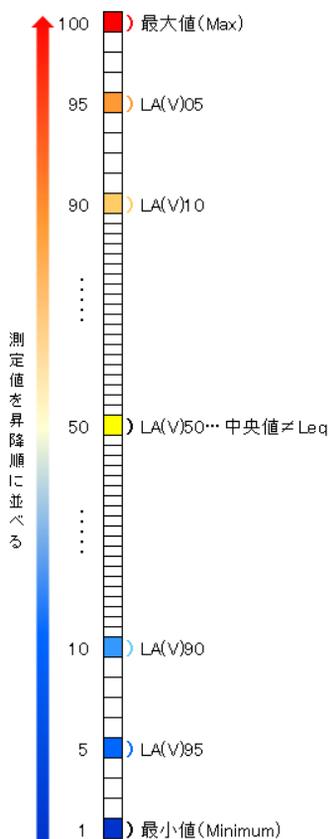


騒音・振動の値/簡易説明

【例】測定データが100個の場合



振動現場調査報告書												
工事名	対象工事名			読み込み								
工事場所	調査年月日			H25.12.6			～ H25.12.6					
調査場所	調査時間			8:45:02			～ 17:45:03					
Serial	Date	Time	Measurement Time	7軸 振動レベル(dB)						備考		
0	H25.12.6	8:45:02	15分	LVEq	LVmax	LVmin	LV05	LV10	LV50	LV90	LV95	
1	H25.12.6	9:00:02	15分	47.0	88.0	34.0	37.0	43.0	46.0	43.0	41.0	
2	H25.12.6	9:15:02	15分	48.0	60.0	31.0	52.0	51.0	47.0	42.0	41.0	
2	H25.12.6	9:15:02	15分	43.0	60.0	28.0	48.0	46.0	40.0	35.0	34.0	

表記	呼び名	簡易説明内容
LA(V) eq	騒音:等価騒音	人間が受けるダメージを数値化した値(平均値)
	振動:パワー平均レベル	
LA(V) Max	最大値	時間設定した時に測定した値の最大値
LA(V) Min	最小値	時間設定した時に測定した値の最小値
LA(V) 5	5%時間率 騒音(振動)レベル	騒音(振動)があるレベル以上に上っている時間が実測時間の5%を占める値。騒音測定に必要な上端値 例)測定時間を100個に分割した中で、L5Iは大きい方から5個目の数値、L95Iは、同じく95個目の様なイメージです
LA(V) 10	10%時間率 騒音(振動)レベル	考え方は上記と同様で上位10%の数値を示す 振動測定に必要な上端値
LA(V) 50	50%時間率 騒音(振動)レベル	考え方は上記と同様で上位50%の数値を示す 騒音(振動)測定の中央値
LA(V) 90	90%時間率 騒音(振動)レベル	考え方は上記と同様で上位90%の数値を示す 振動測定に必要な下端値
LA(V) 95	95%時間率 騒音(振動)レベル	考え方は上記と同様で上位95%の数値を示す 騒音測定に必要な下端値

- ※騒音であれば、時間率騒音レベル上端値(LA5)・時間率騒音レベル下端値(LA95)・等価騒音レベル(LAeq)を表示した時間変動図が基本的な測定結果となります。
- ※振動であれば、時間率振動レベル上端値(LV10)・時間率振動レベル下端値(LV90)・等価振動レベル(LVEq)を表示した時間変動図が基本的な測定結果となります。

トラブルシューティング

症状	原因	対処法
表示部に数値が00dBと表示される	振動・騒音計の電源OFF	制御盤を開けてそれぞれの電源を入れてください。
数値、表示がちらつく	コネクタの接触不良 ケーブルの断線または水没	ケーブル差込口の清掃、差込の確認をして下さい。
振動数値異常	振動ケーブル～センサー間ケーブルの断線または水没	本体入替を推奨します。
SDカードに収集データが保存されない	・SDカードの蓋が開いている ・空き容量がない	蓋をきちんと閉めてください。 SDカードに空き容量がある事を確認して下さい。